

笑 顔

☆まあいじかん☆

篠山東中学校 3年1組学級通信

第 54 号

2018(平成30)年10月26日発行

発行者 松田 淳二

文化祭まであと1日!

文化祭の練習期間があつという間に過ぎていっています。合唱や演劇などの発表に向けて少しでもいいものをこの3の1の42人で心を一つにつくりあげようとしている姿が本当に素晴らしく、輝いています。気づけば練習ができるのもあと1日なんです。中学校生活最後の文化祭を、この3の1の42人で迎える最後の文化祭を大成功させるために、今日の1日で最後の仕上げをして、しっかりと準備をした形で文化祭に入りたいと思います。合唱や演劇の各リーダーに本番に向けて意識していきたいことを聞きましたのでそれを載せます。今日の練習に活かしていこう。

【演劇の部】

音響：役者の動きに合わせる音の大きさやタイミングを完璧にする。

照明：上下証明ともに場面の変わり目の暗転、点灯のタイミングを合わせる。上はスポットライトの円をできるだけひとつにする。下は色や明るさを場面にあったものにする。

大道具：大道具の出し入れを素早く丁寧にする。

小道具：用意してきたことをもう一度見直してこれでいいのか確認する。確認するときも文化祭あるあるの感じではなく笑顔で最高の文化祭にできるようにする。

背景：最終点検や実際に劇と合わせたときの修正などをしたい。また、付けはずしなども丁寧に素早くしたい。

キャスト：役になりきる。練習では、セリフを忘れてしまったり、セリフがない時の動きを忘れたり、不自然になってしまうことが多いので、その場ごとの役の気持ちや感情をきちんと理解した上で演じる。

【合唱の部】

○『Tomorrow』

指揮者：歌の流れにのせた指揮がどこまで合わせられるかを追求していく。ただ指揮をするだけではなく、クラスを一体にできる指揮を心がける。

伴奏者：「運んでくれるだろう」のところピアノと少しずれているので歌もピアノも一丸となって指揮者を信じて歌いましょう。休符の長さをしっかりと意識して歌いましょう。



パートリーダー

ソプラノ：「素晴らしい夢と素敵なメロディ運んでくれるだろう」という歌詞でクレシェンドし、アルト、男声の背中を押しましょう。

アルト：8分休符の所でアルト全員が同じタイミングで息を吸えているので、できているところを忘れないようにするために練習の前に意識するところをお互いに言い合しましょう。

男声：「光の中飛び交うように」の「うよ」のところを伸ばさず歌うのを意識して歌いましょう。「Tomorrow」のところを、口を縦にして歌いましょう。

○『蒼鷺』

指揮者：蒼鷺は静かに「目を閉じそして風を聴く」のところを小さく歌う意識はすごくいいと思うけれど、歌詞がよく聞こえないときがあるので、そこに気をつけて歌うのと「風は葦を押しきて、また、どこかへ去っていく」のところにアクセントを入れて歌うことと呼吸の仕方を意識して最後まできれいな声で歌えるようにしましょう。

伴奏者：今まで練習をしてきてほんの数分の練習で強弱が意識できたりした。だから最後まで絶対にあきらめずに練習をしたい。日に日に蒼鷺がよくなっているので本番の直前まであきらめずに1分1秒の練習を大切にしたい。

パートリーダー：

ソプラノ：蒼鷺は息を吸う場所に気をつけてp、mpともにたくさん息を吸って歌いましょう。今まで練習してきたことを精一杯出し切って楽しんで歌いましょう！！ソプラノならできる。

アルト：息を吸うタイミングや強弱記号は意識できているので、地声にならないように骨に響かせて歌うことを意識する。友だちと口の形を確認しながら歌う（特に“え”の形）静かに～のところは小さく歌うけれど口は大きく開けて子音をはっきり歌いましょう。

テナー：NGを意識して歌うことと「むなげをふるわす」からだんだん地声になっていることがあるのでそこを意識することと2回目の蝦夷榛（えぞはる）のところから息切れを起こし始めるのでしっかり肺に息をためることを意識して練習しましょう。最後の「影がのびる」の“る”でテナーの中でハモっているので自分の音を理解して歌いましょう。

バス：伸ばすところが伸ばせていないのを意識することと息をもっと吸うこと、口を開く（あ、え、お）ことを意識して練習しましょう。

